



科学の重要性

龍



最近では休暇がほとんどなく、好きな推理小説を読めるのは正月だけだ。中でもお気に入りには東野圭吾のガレリオシリーズ。理由は物理学者がいつも言う「科学の重要性」である。物事には起こる必然性があり、理由があり、結果があり、科

龍 鈴木 議員 評 連 盟 師 医 科 歯 科 県

学がそれを実証する。

実は学生時代、歯科は文科系で、覚えるばかりで、自分には合わない世界だと感じていた。しかし臨床経験を積むうちに、「体は機械みたいだ」と思うようになった。歯科が好きになってきた。歯科の分野は化学も物理も数学もすべて必要

□□ 20 □□

臨床の謎を解くように

な世界。最近では臨床の謎が方程式を解くように自分なりにやっとなら解けるようになってきた。

人間を機械に例えるなど不謹慎だと言われそうだが、私はそうは思わない。冷静に物事を分析するのに科学は不可欠だ。歯科の疾患にも必ず原因があり、原因が分からなければ疾患は治せない。臨床で理解した知識は有効だが、常に新たな謎が生まれる。いくら勉強しても歯科に必要な知識は膨大であり、現状の知識量に満足できない。そして歯科臨床では、実際に治療する技術も必要だ。

患者さんは「先生は何でも分かる」と思うようだが、そんなことは有り得ない。だから良い先生とは長くお付き合いすることをお勧めする。歯科は今若者に人気がないようだが、将来を迷っている若者には、インタレスティングな歯科医師を目指すことをお勧めしたい。特に理系の学生には歯科の扉を開いてほしい。それが私の初夢。